

豊かな実績・確かな信頼

Manol

コンクリート・モルタルの 被覆、保護、美装仕上用

ベンディ基礎コート

弾性に優れたポリマーセメント系モルタル

- ベンディ基礎コートは、防水性・耐塩害性・耐候性に優れたマノールベンディを用いたコンクリート躯体等の被覆材です。
- 曲げ・伸張性に優れ、躯体のクラックに追従します。
- 耐久性に優れたアクリル系ポリマーディスパージョンとの組み合わせをすることで、コンクリート下地やモルタル下地との接着性に優れています。

種類と荷姿

種類	荷姿	使用方法 / 使用量
ベンディ基礎コート	17kgセット/缶 (粉体5kg×2袋)+ (強化液3.5kg×2袋)	粉体と強化液のセット品 可使時間: 約30分 乾燥時間: 約2時間(20℃)
ベンディ基礎コート(S)	8.5kgセット/箱 (粉体5kg+強化液3.5kg)	
ベンディプライマー (速乾型)	18kg缶 4kg缶	原液または水で30%まで希釈可 ※非吸水下地には適しません
カラートップK (グレー・骨材無)	15kg缶 4kg缶	標準塗布量0.2kg/m ² (2回塗りにて)

標準調合

粉体(kg)	強化液(kg)	練り上り量(ℓ)	施工面積(m ²)	
10	7	8	0.5mm厚	16
			1mm厚	8
5	3.5	4	0.5mm厚	8
			1mm厚	4



ホルムアルデヒド放散等級

等級区分 F☆☆☆☆

登録番号 0908008

日本建築仕上材工業会

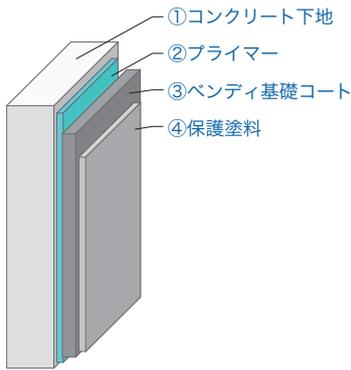


株式会社 **マノール**

<http://www.manol.co.jp/>

☎ 03-3927-1331

ベンディ基礎コート 施工要領



- ① クラック・欠損部はポリマーセメントモルタル(ドクターQリペア等)にて補修を行い下地を清掃する。
- ② 専用プライマー塗布
(ベンディプライマーをご使用ください)。
(下地が完全に平滑でない場合は必ずご使用ください)。
ベンディ基礎コートの粉体と強化液を標準調合によりハンドミサー等を用い練り上げる。
【標準調合】粉体10kg:強化液7kg
- ③ ベンディ基礎コートを中毛ローラー・金ゴテ等で塗り付ける。
【参考塗布量】1.0~2.0kg/m²
- ④ 保護塗料としてカラトップKを塗る。
【養生時間目安】気温20℃:2時間

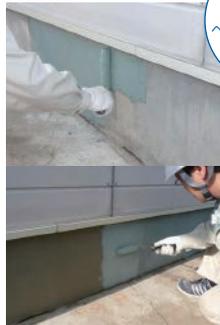
種類と荷姿



17kgセットで、約16m²、
8.5kgセットで、約8m²
(0.5mm厚)施工できます。

17kgセットはバール缶入り、
8.5kgセットはダンボール箱入りとなっております。

塗り付け



ベンディ基礎コートを塗り付ける

可使時間(約30分)に注意をし、
横方向と縦方向に均一に塗り均します。

ベンディ基礎コートの塗布直後は、
青みかかった色ですが、
塗布後約15~30分位で色合いが変化します。

保護塗料



カラトップKで保護仕上をする

ベンディ基礎コート乾燥後(約2時間)に、
保護塗料としてカラトップKを塗り付けます(基本2回塗り)。

上塗りにカラトップKを使用することで、
耐久性・耐候性が一段とアップします。

ベンディ基礎コートの性能

ベンディの品質

項目		単位	測定値
引張強さ		N/mm ²	1.5
破断時の伸び率		%	97
付着強さ	ゼロスパンテンション伸び量	標準	mm
		標準	N/mm ²
		湿潤下地	N/mm ²
		劣化処理後(アルカリ処理)	N/mm ²
	劣化処理後(浸水処理)	N/mm ²	0.8
透水性		g	0.0 漏水なし

各試験は日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針案・同解説、参考資料2「ポリマーセメント系塗膜防水材の品質試験方法」による

注意事項

(施工上の注意)

- 現場での砂、セメント等の混合は避けてください。
- 気温が0℃以下での場合、施工を中止するか、適切な養生を行ってください。
- 施工中及び施工後、降雨、降雪が予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、気温、下地の表面温度および材料の保管状態によって異なりますので、ご注意ください。
- 下地に水分がある場合は、下地を乾燥させて施工してください。

(使用上の注意)

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護メガネ、保護マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所で行ってください。取扱い後は、うがい・手洗いをし、使用した工具類は、早めに水洗いしてください。

(保管上の注意)

- 粉体は、吸湿性がありますので湿気厳禁で保管してください。
- プライマー、強化液は直射日光を避けて保管してください。

(その他の注意事項)

- 材料の搬送時、落下・転倒・破損等がないように防止をしてください。
- 材料を廃棄する場合、都道府県条例に基づき適切に処理してください。
- 材料を海・河川・湖沼・池・下水道等へ直接流入すると汚濁汚染することになりますので絶対に破棄しないでください。

(応急処置)

- 材料が目に入った場合は、直ちに多量の水で洗眼し医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した材料は、直ちに水洗いし必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 材料を誤飲した場合、多量の水を飲ませ吐かせた後医師の診断を受けてください。

セメント混和・助材総合メーカー



株式会社 マノール

<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店